

郷心会だより

VOL.150

2022年3月

■郷心会連合会 〒730-0011 広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル内

■E-mail kyoshinren@mazda.co.jp

■ホームページ <https://www.kyoshinkai.jp/publication/>



今号の一枚 福山市:福山城
2022年8月 築城400年

写真提供 広島県

郷心会活動の総括:1年を振り返って

コロナ禍、多くのイベントが中止される中、郷心会の活動も見直しを余儀なくされましたが、今年度は、皆様のご協力のもと、いくつかの活動を実施することができました。特に、会員商品の通販サイト(郷心会Webモール)開設、互助企画など積極的におこないました。また、オンラインでの安全講習会、ホームページのリニューアルなどを通して、「郷心会の輪」を広げることができました。

項目	目的	内容
1.郷心会ブランド向上	「郷心会」のプレゼンス・ステイタスの向上、郷心会ブランドの浸透を図り、郷心会活動の活性化を推進する。	連合会会長会議、 合同講演会
2.地域貢献	地元主催イベント等への積極的な会員製品の出展を企画・案内、ビジネスマッチングの場を提供することにより、企業PRや製品の販売促進を支援する。	郷心会Webモール開設 各郷心会主催の互助企画 地域イベントの協賛 ビジネスフェア中四国 会員製品1.1万円プレゼント企画(BUYひろしま) スポーツ・文化応援活動
3.マツダ車販促支援	会員および地域の皆様に、「マツダを知っていただく場」のご案内、および「マツダ車を見て・触れて・乗っていただく機会」をご提供する。	地域イベントでの車両PR オンライン安全講習会
4.会議・広報	定期的に郷心会各層を対象とした会議を開催して円滑なコミュニケーションを図る一方、機関誌やHPなどを通じて積極的に活動内容をアピールする。	各所会議の開催 郷心会だよりの発行 郷心会ホームページのリニューアル



ビジネスフェア中四国2022が開催されました

2月2日～3日、広島市、浜田市、高知市の3市と3商工会議所の主催により「第20回ビジネスフェア中四国2022」が2年ぶりに開催されました。今年度は、会場となった広島県立総合体育館では必要な感染対策を十分に講じた上で、例年実施していた展示販売会を中止し、出展者とバイヤー等との商談に特化したイベントとなりました。出展数145社・団体のうち、郷心会からは8郷心会20会員様がこだわりをもって開発した商品を展示され、ビジネスチャンス拡大に取り組まれました。郷心会では、引き続きビジネスマッチング・販売促進につながる支援を進めて参ります。



「MAZDA CX-8 Exclusive Mode」と特別仕様車「Black Tone Edition」の エンジンラインアップを拡充 —お客さまの使い方に合わせて3種類のエンジンから選択可能に—

マツダ株式会社は、3列シートクロスオーバーSUV「MAZDA CX-8」の「Exclusive Mode（エクスクルーシブモード）」に2.5Lガソリンモデルを、また特別仕様車「Black Tone Edition（ブラックトーンエディション）」に2.5Lガソリンターボモデルを追加し、全国のマツダの販売店を通じて、1月下旬から発売開始しています。

～以下、MAZDA NEWSROOMより抜粋～



MAZDA CX-8 25S Exclusive Mode



MAZDA CX-8 25T Black Tone Edition

「CX-8」は、大人6名または7名が快適に乗車できる3列シートクロスオーバーSUVです。上質かつ洗練されたデザイン、意のままに操れる走りの良さ、優れた静粛性や乗り心地を兼ね備えたマツダの国内最上位クロスオーバーSUVです。多人数乗用車でありながら、走りとデザインを両立したいと考える幅広い世代のお客さまからご好評いただいております。

詳しくはニュースリリースをご覧ください。⇒<https://newsroom.mazda.com/ja/publicity/release/2022/202201/220114a.html>

CX-8オフィシャルサイトはこちら。⇒<https://www.mazda.co.jp/cars/cx-8/>

マツダ、「MAZDA MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle」の販売を開始

—手動運転とペダルによる運転を選択できる、自由な移動をサポートする新たな選択肢—

～以下、MAZDA NEWSROOMより抜粋～

マツダ株式会社は、手動運転装置付きの「MAZDA MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle（セルフ エンパワースメント ドライビング ビークル）」の販売を開始しました。ご購入の際は、オフィシャルウェブサイトを通じて、専門知識を備えたスタッフがオンライン上にて、お客さまお一人おひとりのご相談やご要望をお伺いし、お客

さまのお体に合わせた装備をご提案してまいります。MX-30 SeDVでは、運転システムに手動運転装置を搭載し、手動運転とペダルによる運転操作の選択が簡単に行え、足の不自由な方が運転したり、友人やご家族と運転を交代しながらドライブをお楽しみいただけます。MX-30の全機種に取り付けが可能です。



「MAZDA MX-30 Self-empowerment Driving Vehicle」
(MAZDA MX-30)



アクセルリングとレバークレーキ

MX-30 SeDVは、お客さまが自分の意志で移動したり、行動したりすることをサポートする選択肢の一つとしてご提案する、手動運転装置付車です。MX-30のコンセプト「わたしらしく生きる」をもとに、お客さまの夢を応援し、より豊かな人生を過ごしていただくことを目指して開発しました。運転システムは、手で直感的に加減速を行う「アクセルリング」と、「レバークレーキ」を採用。加速時は、運転しやすく、素

早く慣れることができるよう、操作意図に応じた滑らかな挙動の実現を目指しました。減速時は、力を発揮しやすい軌道にレバーを配置するとともに、ブレーキサポートボードを支点に、肘から先での細かなブレーキ操作を実現。手での手動運転と、従来の足でのペダル運転操作の選択が簡単に行えます。また、車いすをご利用の方の運転席への乗り移りをスムーズにする「移乗ボード」をご用意しました。

MAZDA MX-30 SeDVに関する情報サイト：<https://www.mazda.co.jp/cars/mx-30/grade/sedv/>

会員専用サイトでPRいたします！ ～郷心会会員様のデジタルチラシ募集中～

平素より、郷心会活動にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。郷心会事務局では、会員専用サイトに掲載する会員様の”デジタルチラシ”を随時受け付けております。新商品・サービスなどのご案内、PRにぜひご活用ください。掲載のご要望は各郷心会事務局までお問合せください。

2021年10月に郷心会ホームページをリニューアルいたしました。
「ブックマーク」「お気に入り」などの登録をよろしくお願いします。
オフィシャルサイト：郷心会の成り立ち、活動内容、会員情報など
会員専用サイト：会員企業／商品紹介、イベント案内／報告など
※会員専用サイトのパスワードは各郷心会事務局までお問合せ下さい。



尾道&因島

コロナに負けるな！会員間互助企画 ～会員商品サービス利用促進商品券プレゼント～

尾道、因島郷心会では、昨年度に引き続き、会員互助として会員商品やサービス利用に対する商品券プレゼント企画*を実施しました。本企画は、2021年11月20日にスタートし2022年2月末で終了しましたが、その間多くの会員の皆様にご参加いただくことができました。約3か月間でのご利用店舗／金額は、尾道郷心会：約35会員、約180万円、因島郷心会：約30会員、約140万円の互助となり、商品券を受け取った会員様、商品やサービスを提供した会員様双方から感謝の言葉をいただきました。

*会員様が会員企業の商品やサービスを利用後、領収証やレシートの写しを所定の申込用紙に貼り付けて事務局へ提出していただき、事務局にて確認後、商品券もしくは図書カードをお届けするもの

I LOVE おのみち
ロゴ入り
JCBギフトカード



因島水軍ふるさと商品券



図書カード



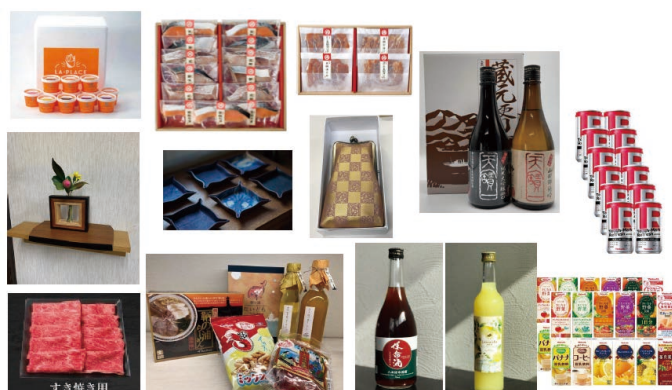
福山

会員商品プレゼント企画の実施報告

福山郷心会では、2021年11月より、昨今のコロナ禍において、事業に大きな影響を受けている会員様のご支援策の一環として、「5千円商品プレゼント（何が届くか?!お楽しみ）企画」を実施いたしました。

【企画内容】

- 1会員あたり5千円の会員商品・サービスをプレゼント
- どんな商品が届くかは来てのお楽しみ
- 商品は、45会員様から、工芸品・海産物・お酒・ジュース・アイスクリーム・コーヒー・柑橘・お菓子等、様々



プレゼント商品の一例

合同企画

広島ドラゴンフライズ観戦会 広島・廿日市・大竹・安芸

2月5日、広島グリーンアリーナにて、西地区4位の広島ドラゴンフライズが、東地区4位の宇都宮ブレックスと対戦。コロナ禍、まん延防止等重点措置の期間中ではありましたが、4郷心会の合同企画として総勢67名にご参加いただき観戦会を行いました(大竹郷心会は、コロナ禍でのキャンセルにより不参加)

4連敗中で迎えた広島は、第1クォーター18対18と接戦でスタートしたものの、第2クォーター以降は、相手チームの堅守と3ポイントシュートなどで点差が広がり最終スコアは63対77。惜しくも敗れましたが、参加された方々も注目の寺嶋選手やベテランの朝山選手の3ポイントシュートが決まると、拍手をしたり配布された応援ハリセンを叩き、会場が一体となって熱く盛り上がりました。来年度も、観戦会を実施する予定です。ぜひご参加いただき広島ドラゴンフライズへ熱い応援をお願いします!



今季最多2,594人の
観衆の中行われた試合

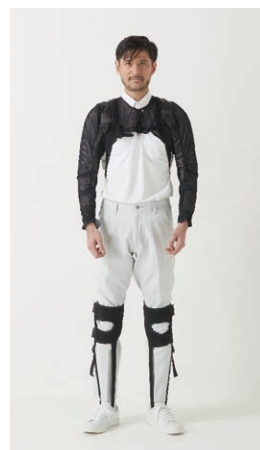
府中

労働の負荷を軽減するアシストスーツ 「e.z.UP®(イージーアップ)」

株式会社Asahicho

株式会社Asahichoは、先進のワークウェアづくりをされている会社です。1937年「児玉被服工業」として創業し、「旭蝶繊維(株)」に改名、そして2021年4月現社名に変更されました。お客様の負担を軽減できたらとの思いから、早稲田大学との共同研究により、2019年アシストスーツ「イージーアップ」を開発し販売を開始。改良を重ねた最新モデルは、家庭用の洗濯機で丸洗い可能、電源不要、上下だけでなく左右・斜めの動きにも対応、1分で装着でき約740グラムと軽量なのが特徴です。物流・建設・製造現場や介護・農作業にも最適です。ご希望の会員様は下記までお問合せください。

■ホームページ: <https://asahicho.co.jp/> ■価格: 39,000円(税抜)
■TEL: 0847-45-4354 ■Mail: ezup@asahicho.co.jp
(パソコンやスマートフォンでのオンラインミーティングも可)



因島

風光明媚な段々畑で育てる 昔ながらの『八朔』

press BON(プレスボン)

因島は“八朔”発祥の地ということをご存知でしたか? 幕末の1860年に因島で見つかった八朔は、1925年(大正14年)、田熊町に出荷組合が設立、大都市市場への販路が拡大しました。現在では、因島で有名な「はっさく大福」「はっさくゼリー」を筆頭に、お菓子やお酒にも加工され、全国的にも人気商品になっています。press BONの柑橘畑では、10年ほど前から少しずつ農薬の回数を減らされているそうです。今年は予防散布を、4月の一度だけにとどめた畑と、農薬不使用で育てる畑、半分に分けて作られています。市販の柑橘の多くは、年間で10回程度は予防をするそうなので、いかに手間をかけ、安全な柑橘を作られているかをうかがい知ることができます。一つひとつの木を観察しながら丁寧に剪定と摘果をすることで、品質の良い柑橘が育つそうです。農薬はなるべく使わず、多くの手間と愛情を注いで育てられたpress BONさんの柑橘をぜひご賞味ください。

■お問合せ: press BON代表 大出史朗 ■メール: sepatakurou7@gmail.com
■ホームページ: <https://pressbon2021.base.shop/>

